

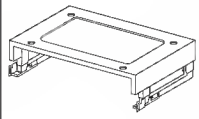
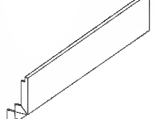
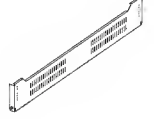






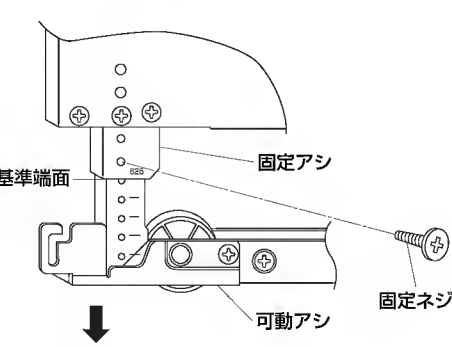
# 6 本体の準備

## 1 取付設置用付属部品の確認 ―― 取付設置の前に必ずご確認ください。

- CS-R02(-S)には下記の取付設置用付属品が同梱されています。

台 枠 U	シュウノウフタU（ダンボールケース小に同梱）			
(ダンボールケース大に同梱)	シュウノウフタA	シュウノウフタB	固定ボルト(2本)	黒ネジ(2本)
			 M8×20刻先ネジ	 φ4×12タッピングネジ

## 2 台枠Uの高さ調節



- (1) 台枠Uの左右の可動アシ前後の固定ネジ（左右各2本）を外す。
- (2) 可動アシを矢印方向に引出す。
- (3) キッチン高さに応じた目盛に、固定アシ端面を合わせて、外した固定ネジで固定する。

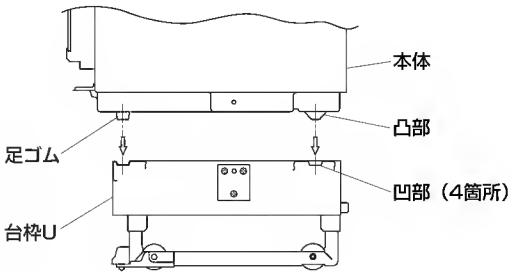
### ●高さ調節目盛位置

キッチン高さ	800	850	860
対応目盛（標準モジュール高さ220のIHクッキングヒーター使用の時）	575	625	635

(注) 目盛は10mm刻みです。数字刻印部分を基準に設定してください。

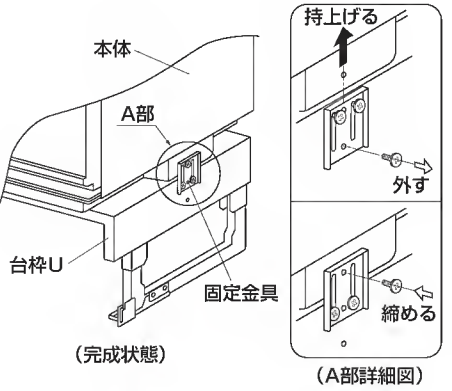
## 3 本体と台枠の固定

1. 本体を台枠に乗せる



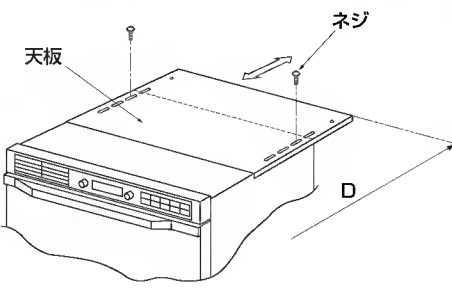
台枠上面の4箇所凹部に、本体下面の足ゴム及び底板の凸部を、はめ込んで設定する。

2. 本体と台枠Uを固定する（左右）



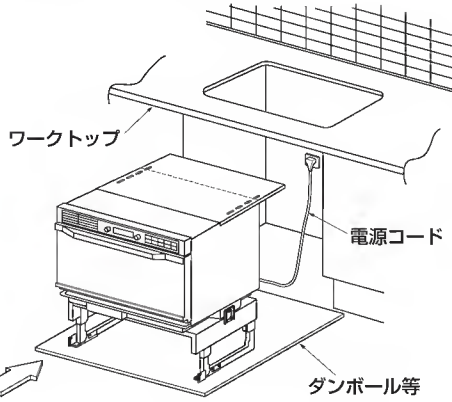
- (1) 台枠U両側面に設けた固定金具の上側2本のネジをゆるめる。
- (2) 固定金具下側のネジを外し、矢印方向に上へ持上げる。
- (3) 外したネジで、固定金具の上側のネジ穴にネジを止める。
- (4) ゆるめた2本のネジをそれぞれ締める。

## 4 天板の調節（本体の奥行き寸法の調節）



機器本体上面に設けた「天板」後部のネジ（2本）を外し、天板を後方にスライドさせ、キッチンのフロアキャビネットの奥行き寸法と同じ寸法（D）となるように長穴部で調節し、ネジで固定する。  
なお、D寸法は「外形寸法図」の項のE寸法と同じです。

## 5 本体をキッチンに組込む



あらかじめ電源を接続した後、後壁に天板が当たるまで押し込む。

- この時、本体前面とキッチン扉前面がほぼ同一となるかを確認してください。
- 面が不揃いの場合は、本体を引出して、再度天板を微調整してください。

- (注1) キッチンへの組込みの際は、床面への傷防止のためダンボール等を敷いて行ってください。
- (注2) 本作業の段階では、床面への傷防止のため、[6] 項の固定ボルトの取付け（仮装着も含む）はしないでください。
- (注3) 本体下部に設けたキャスターは、キッチンへの組込み、及び引出すためのものです。本体の移動には使用しないでください。

### 警告

#### ■電源は200Vとなっているか



電源が100Vの場合、「H04」表示をし、製品は使えない、状態となります。  
電源工事の見直しを行ってください。

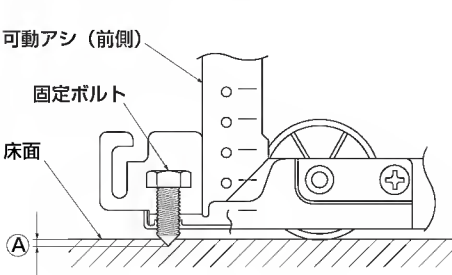
### 警告

#### ■電源プラグにほこりが付着していないか確認し刃の根元までしっかり差込む



ほこりの付着や、コンセントへの接続が不十分な場合は感電や火災の原因となります。

## 6 固定ボルトで床面に固定

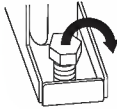


台枠Uの可動アシ前部に固定ボルトをねじ込み、固定ボルトの先端が床面にくい込むように固定ボルトを締め付けて、本体を床面に固定する。

- 固定ボルト締め付けの目安（A）の目安）  
多少くい込ませた状態で、機器本体を前後に力を加えた時、本体が床面を動かない程度とし、動くようであればさらに締めこんでください。

### 注意

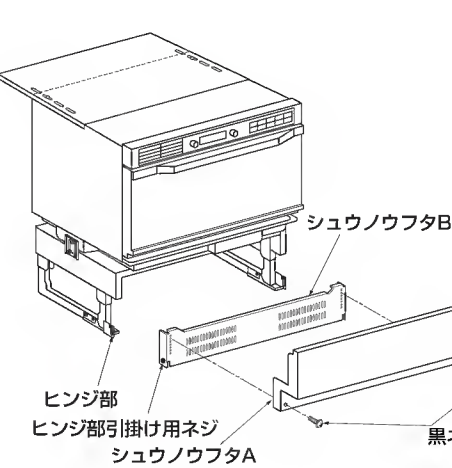
#### ■床面を傷つける恐れあり



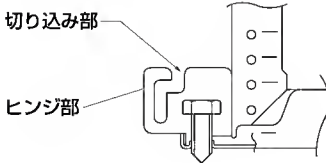
本体を引き出す時は固定ボルト2本を必ず外してください。

(注) 固定ボルト締め付け後、種々の理由で本体を抜き出す場合は、必ず固定ボルトを外してから行ってください。  
固定ボルトをゆるめるだけでは、床面に傷をつける恐れがあります。

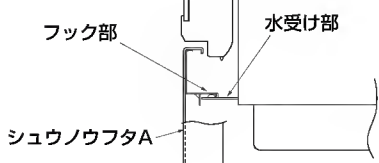
## 7 シュウノウフタの取り付け



- (1) シュウノウフタBの装着  
シュウノウフタBの両サイドに固定されたネジ部（ヒンジピンとして使用）台枠U両サイド前部に設けた切り込み部（図1参照）に上方より差し込み挿入する。
- (2) シュウノウフタの装着  
シュウノウフタAのフック部を本体の水受けの凸部に掛けて、ぶらさげるように装着する。（図2参照）
- (3) シュウノウフタA・Bの固定  
シュウノウフタBを後ろ側に位置させた状態で、シュウノウフタAを重ねるように置き、シュウノウフタBのネジ穴と合う位置で同梱の黒ネジで固定する。



（図1）



（図2）

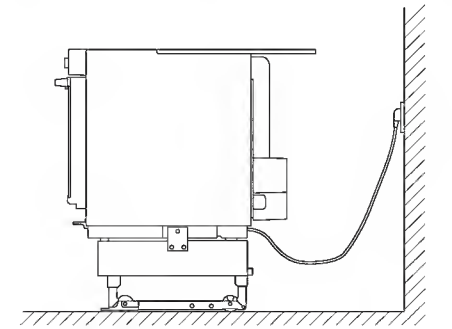
# 7 IHクッキングヒーターの組み込み作業

## ■システムキッチン対応IHクッキングヒーターの場合

各IHクッキングヒーターの「取付設置説明書」に従ってください。

## ■一般流し台対応の場合

[5] 項まで前述手順で本体準備の後、下記のように本体を設置し、各IHクッキングヒーターの「取付設置説明書」に従って取付設置を行い、本体の天板上に設置してください。



### 本体の設置

図のようにあらかじめ電源を接続した後、矢印方向に天板が後壁に当たるまで押しつけて設置してください。

# 8 取付設置完了後の確認

取扱説明書に従い、取付設置状態の確認と試運転を行ってください。

### ●お願い

試運転の前に、オープン庫内へ同梱の調理用付属品は、必ず全て出してください。

確認して頂きたい項目	確認結果	チェック
(1) 電源は200Vとなっているか（注1）	「H04」表示がでない	
(2) 調理用付属品がそろっているか	そろっている	
(3) 傷・打こん・キッチン扉前面との面揃い	ほぼ同面になっている	
(4) 表示管等の点灯確認（注2）	正常に点灯する	
(5) 電子レンジの動作確認（コップに水を入れ、1分程運転）	水があたたまる	
(6) オープン動作の確認（オープン動作で1分程運転）	庫内が熱くなる	

- (注1) 「H04」表示が出たら、電源が100Vで工事されています。  
必ず、電気工事担当者に、工事の見直しをご依頼ください。  
●なお、「H04」表示は誤使用防止のため消えません。消す場合は専用のプレーカーを切ってください。
- (注2) 表示管は電源投入後「0」表示が出ますが、ドアを閉じた状態で約10分間放置すると消えます（無表示）が、ドアを開閉すると「0」表示に戻ります。（電源自動OFF機能採用のため）